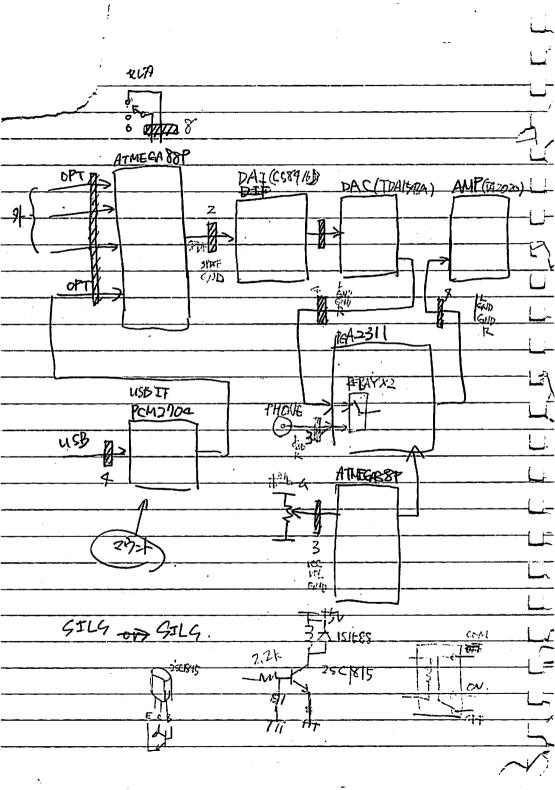
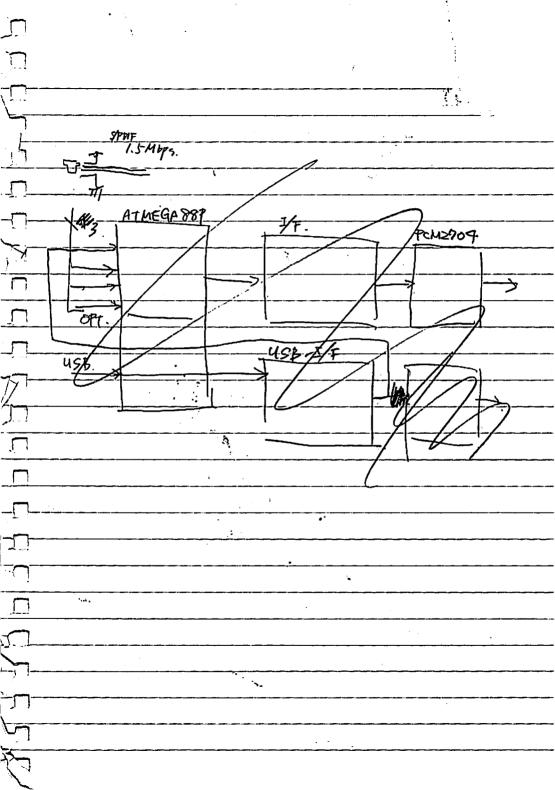


17 X 100





WP-2020AMP-DX

2020デジタルアン サジ



WP-2020AMP-DX

WP-2020AMP-DX は 20Wクラスのデジタルアンフ Tripath Technology「TA2020-020」を採用! 使用するアンプ I Cは音質に定評がある d

出力方式:BTL 出力:20W 4Q (最大) 電源電圧:DC12V(8.5V-14.6V)

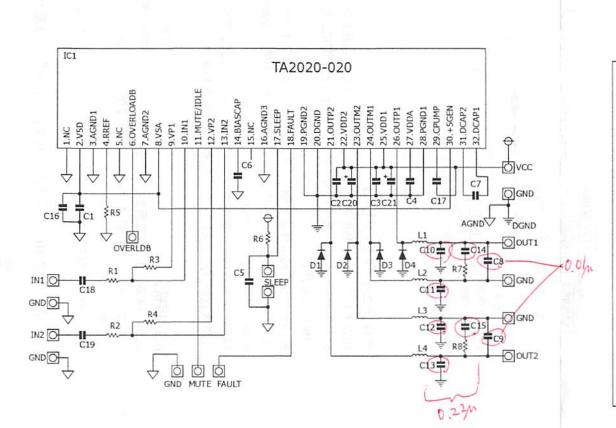
周波数特性:20Hz-20KHz(±0.5dB)

基板寸法:100(W)x60(D)x24(H)mm (基板完成時)

共立電子産業株式会社

Ver.3 2011.4





部品リストと回路図

2

6

10

R5 3

R6

R1-R4

R7.R8

C10-C15

C16.C17

C18.C19

C20,C2

D1-D4

基板

6

2

2

2

アンプIC

TA2020-020

1/4W 8.2K Ω

100V 0.1 µ F

63V 2.2 u F

63V

 $1M\Omega$

20K Ω

10Ω

http://wonderkit.kyohritsu.com/ 【必要工 ンダごて、 難易度: * ハンダ、 × 本公

販売元: ワンダーキットプロダクツ 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-8-26 TEL(06)6644-4447 FAX(06)6644-4448 製作時間:





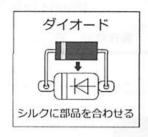
- 本機はギット商品です。完成時の性能・品質・安全に関するすべてのリスクは組立てた方ご自身に負っていただくことをご承知ください。またいかなる状況下、法律上、契約上のもとにおいて、間接的、付随的、あるいは結果的に生じたいかなる種類の損害に対しても 切の責任を負うことはできませんので 了承ください。
- 当社は、お客様の特定することはできません お客様の特定の目的にかなうことや、 他の機器に対して優善なおことを 切保障
- を変更する場合があることを予めご了承ください。 本製品およびそれらを構成するパー 少類は改良、 性能向上のため、 予告なく仕様、 外觀等



【部品の向き確認】

組み立てる前に部品の向きを確認します。

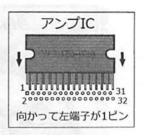
(契) ハンダこては80W以上の物をお奨めします!











【組み立て】

組み立て手順としまして、まず背丈の低い部品からハンダ付け して行きます。

* ダイオード → ヘッダーピン → 抵抗 → コンデンサ → 電解 コンデンサ → アンプIC → インダクタ

そして最後に 短絡ソケット を MUTE に1つ、

H:MUTE

SLEEP に1つ差し込みます。

MUTE DO TO

GND MUTE FAULT MUTEは「MUTE端子」と「FAULT端子」 に差し込みます

SLEEP OTO

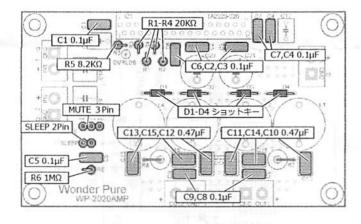
SLEEPはそのまま差し込みます

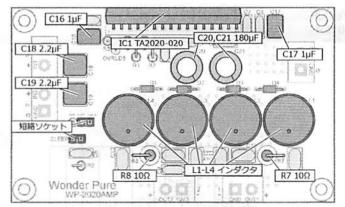
【付属機能】

MUTE: 短絡ソケットを外す(MUTE端子を オープンにする)とミュートモードに なります。

FAULT端子:アンプICに内蔵されている保護回路が働く(過電流、低電圧、過熱)と、FAULT端子から信号(5V)が出力されます。また MUTE端子につないだ場合、保護回路が働きミュートモードに入ります。

SLEEP: 短絡ソケットを外すとアンプICが スリープモードになります。





【動作チェックでの注意】

- ・組立てが終わり、動作チェックをされるときは、電源を入れる前に、 パーツの取り付け位置・配線・はんだ付けなどに間違いがないか再度 点検してください。
- 動作チェック時に異常を感じたら、ただちに電源スイッチを切り、AC プラグをコンセントから抜き、パーツの取付け位置、配線間違いなど を再度点検してください。
- ・電源を入れる前に、音量ボリュームを最小にしておいてください。 突然大音量が出てスピーカーを壊すことがあります。

シルク	値	表記
R5	8.2KΩ	灰赤黒茶茶
R6	1МΩ	茶黒黒黄茶
R1-R4	20K Ω	20K
R7,R8	10Ω	10Ω
C1-C9	0.1 μ F	0.1
C10-C15	0.47 μ F	μ 47k
C16,C17	1μF	1.0 μ F
C18,C19	2.2 μ F	2.2 μ F

【配線接続】

- ・8.5V-14.6Vの直流電源を①に接続します。
- ・CDプレイヤー等の音楽ソース入力1・2を ②に配線します。
- ・スピーカラインを出力1・2の③に配線します。

*TA2020-020ICは基本的に放熱板は必要ありません。

